

会派の代表者が施政方針や予算案の概要に対して質問しました

日本共産党議員団 服部 正平



都市間競争の中での持続・発展に向けた事業

自治体間競争が激化する中、本市が掲げる目標「快適で暮らしやすいまち」にいくために、取り組む「移住促進」・「子育て支援」等は、他市町も強力に推し進めている。他市町と本市における相違点はどこであるか伺う。

自治体間の競争が激しい中ではあるが、周辺地域を含めた持続的発展を考え、競争だけでなく周辺市町との連携を強化しながら移住促進イベントの開催や子育てしやすいの情報発信など地域の魅力向上に取り組んでいる点が他市町との大きな違いである。

三島市のジェンダー意識の到達点と評価

日本のジェンダーギャップ指数は、2023年度に146カ国中125位と前年度の116位から9ランク後退した。三島市男女共同参画プラン（みしまアクションプラン・パート4）が示す具体的な指標について、現在の到達状況をどう評価するか。

令和5年度の市民意識調査における、性別役割分担意識について「どちらかといえば反対」と「反対」を合わせた回答は68.6%であり、令和4年度より4.4ポイント上昇しているが、令和7年の目標が80%以上のため、達成に向けセミナー等を開催し意識醸成に努める。

市民の幸福感（ウェルビーイング）における評価

令和5年度市民意識調査の結果、幸福感は例年通り6点台であったが、市民が主な指標とする3項目「健康・家族関係・家計」はいずれも令和4年度から後退した。市民の幸福感向上が課題とされているが、そのための事業展開を伺う。

令和5年度の「めざせ！ウェルビーイング宣言」に基づき、令和6年度の新規事業として、ウェルビーイング認定制度を創設し、企業・団体、個人のウェルビーイングに対する取り組みをラジオ番組で紹介することにより、さらにウェルビーイングの認知度を高めていく。

一般質問 (ここが聞きたい!)

市議会議員が市に対して質問を行い、適切な市政運営を進めているか、チェックや提案をするものです。10人の議員による質問が行われ、活発な議論が展開されました。

秋山 恭亮 (改革みしま)



三島市のパブリシティ(発信機会)の増大

三島市にドラマや映画などの大型ロケを呼び込み、発信機会を増大させる仕組みを民間との共創で作ることを提案するがいかがか。

現在、協議会に加盟し、ネットワークの構築や最新の取り組み、活用のノウハウなど学んでいるが、地域におけるサポートが充実する官民一体の組織による共創は重要であると考えているため、本市における理想的な在り方や方向性を調査・研究していく。

市役所のDX推進

市役所のDX推進について、現状を踏まえつつ、将来を見据えた人材育成にどのように取り組むのか。

業務をデジタルでデザインできるようにプログラミングなど少し専門性の高い知識を持った職員を育成するとともに、本市の強みであるデータベースの活用を職員間で共有、継承していくよう、育成対象の職員のモチベーション維持を図りながら取り組んでいく。



他の質問事項

学校でのDXの取り組み

高田 康子 (緑水会)



本間 雄次郎 (維新と無所属の会)



永田 裕二 (新風会)



三嶋大祭りを新たな観光資源に

三嶋大祭りを観光資源とし三島市のさらなるアピールに繋げるため、ふるさと納税の返礼品にお祭りの体験型商品を組み込めないか。

三嶋大祭りにおける特別な体験は魅力ある旅行商品と考える。返礼品として活用することで納税件数や金額の増加が期待でき、また返礼品ポータルサイトへの掲載により本市のPRにも繋がることから、三嶋大祭り実行委員会に検討をお願いしていく。



新規事業となる「子ども家庭センター」

令和6年4月から各自治体に設置が努力義務となった、子ども家庭センターの業務はどのようなものか伺う。

妊産婦や乳幼児に関する相談を受ける母子保健と、子どもとその家庭の様々な困りごと相談や虐待等に対応する児童福祉が一体となり、両部門に精通した統括支援員や社会福祉士、保健師等の専門職のもと、切れ目のない、きめ細やかな相談支援を行っている。

他の質問事項

多様な性を認め合える世の中を考える

新庁舎建設地

議員の多くが北田町を希望している状況で決定延期したということは、市が南二日町を希望しているとの解釈でよいか。

市議会としての意見が一本化されず、パブリックコメントにも多種多様な意見が寄せられたことを受け、より一層の周知や民意把握のためスケジュール等を再検討した。新たな配置計画案によるアンケートを実施し広く市民の意向を伺い、整備地の方針を示していく。

三島駅南口東街区再開発事業

令和5年8月に総事業費は209億円から261億円に増加された。今後のさらなる総事業費増加はあり得るか。

長期にわたる事業であるため、景況に応じて事業を作り直していくこともあるが、将来を見通すことは難しい。



他の質問事項

三島駅南口西街区に建つ東急ホテルの現状

新庁舎整備に伴う候補地による影響

6年にわたり庁舎機能を維持しながらの工事となってしまう北田町(現在地)での、工事期間中の職員への影響について伺う。

工事の工程に応じて執務室の配置等が変わることから、市民のみならず、そこで働く職員にも理解を得る必要がある。工事期間中は、騒音や振動、粉塵の発生など、様々な状況が想定されることから、必要な対策を講じながら進めることになる。

三島駅南口エリアに必要な公共施設の設置

公共性の高い三島駅前広場などに、受動喫煙防止の観点から、喫煙所を公衆トイレや歩道屋根の屋上に設置できないか。

喫煙所設置への理解が非常に厳しい状況にあることから、人通りが少ない場所や、人が集まることから離れた場所、分煙ルールを徹底して設置する必要があると考える。引き続き、周辺喫煙所の利用状況などを注視していく。

